



令和5年度 甲府市立里垣小学校

令和5年 9月 28日
発行 第6号



さとがき

里垣小学校だより
甲府市立里垣小学校
校長 保坂 茂

【学校教育目標】かしこく、なかよく、たくましい子どもの育成

里垣小学校ホームページ <http://www.satogaki-e.kofu-ymn.ed.jp/>

全国学力・学習状況調査」の分析結果の概要

本年度の全国学力・学習状況調査は、4月18日（火）に全国の小中学校において実施され、本校でも6年生45名が参加しました。過日、その調査結果が公表されました。

本校では、「知・徳・体のより高い調和」を目指した教育活動に努めており、今回の全国学力・学習状況調査の結果は、本校の教育活動の現時点での評価と捉えています。

この結果を受けて本校では、指導方法の改善や校内研修の活性化に努めるとともに、概要ではありますが家庭や地域の皆様と結果について共有し、学校と家庭と地域が繋がるみで、子どもたちの教育について考える機会にしたいと思います。

調査の目的

義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

小学校6年生

調査の内容

- 1 教科（国語 算数）に関する調査：下記（1）と（2）を一体的に問う。
 - （1）身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - （2）知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 2 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

本校の学力・学習状況調査の結果と分析改善

学力調査の結果

本校の教科に関する問題の状況（全国・山梨県との比較）

本校の平均正答率については、全国平均とくらべて、国語はほぼ同等、算数は高いのですが5%以内という結果でした。

	国語	算数
全国平均	67.2%	62.5%
山梨県平均	66%	61%

*文部科学省では、平均との差が±5%を微差とし、「±5%は、ほぼ同等を意味する」としています。

主な課題とそれに向けての取組

これは、必ずしも県または全国の平均よりも低いものを示したものではありません。正答率が県・全国平均を上回っているものも含まれています。本校として、正答率の低い傾向にある問題の趣旨を記載しました。

国語

☆図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるか。

《問題1ー2》

学校の米作りについて問題点と解決方法を書く問題です。「グラフ」から分かることを、「米作りを記録していたカード④」より問題点を、「カード⑤」より解決方法を、60～100字で書きます。3つの条件の、全てを満たしていない解答がみられました。

グラフや資料より読み取ったことを根拠として、自分の考えを書くことが求められています。

そのためには、目的等に応じてグラフやその他資料を読み取る力が必要になります。各教科の学習の中で自分の考えを書いたり、発表したりするときには、文章やその他の資料から、その理由となることを読み取り根拠とすることを意識させていきます。

②情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関連の表し方を理解して使うことができるか。

《問題2ー3》

相田さんは、「自分にとって重要な言葉」を整理し、「運動」と「栄養素の働き」を整理している。「運動」と「栄養素の働き」を関連付けて捉えることが求められています。しかし、それら全てを関連付けて捉えることができできなかった解答がみられました。

文章や資料(情報)を読み取る時、重要な言葉をキーワードとして選び、整理することが大切になります。キーワードに線を引いたり、丸で囲んだりするとともに、それらのキーワードをそれぞれ関連付けて整理していくことが大切となります。文を要約する場面等でも、大切なこと(キーワード)を落とさずに文にまとめさせると同時に、それらの関連も考えるようにしていきます。

③日常よく使われる敬語を理解しているか。

《問題3ー2》

相手と自分との関係を意識しながら、相手や場面に応じて適切に敬語が使えるか。尊敬語と謙譲語についての理解が求められています。

インタビュー等をする場合、相手や場面を意識して敬語を適切に使い分けることが大切です。敬語が必要な場面なのか、相手と自分の関係はどうかなどを考えながら、尊敬語や謙譲語を理解し使い分けられるようにします。

算数

①正三角形の意味や性質について理解しているか。

《問題2-(3)》

切って開いた二等辺三角形を正三角形にするためにAの角度を何度にするかを考える問題です。(具体的な問題を紹介します)

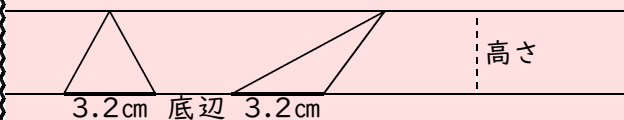
この問題では、テープを折ったり、切ったり、開いたりする操作を紙面を見ながら頭の中で行わなければなりません。低学年からの具体物の操作等の平面図形に関わる数学的活動を大切にしていける必要があります。

②高さが等しい三角形について、底辺と面積の
関係をもとに面積の大小を判断し、その理由を
言葉や数を用いて記述できるか。《問題2-(4)》

ある辺を底辺としたときに高さが等しくなる三
角形について、底辺と面積の関係を基に面積の
大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記
述する問題です。

2つの三角形は面積が等しくなると答えた解
答が半数をしめていますが、理由の記述では、
底辺のみ等しい、高さのみ等しいと記述してい
る解答がみられました。

平行な2つの辺の幅が同じことから2つの三角
形の高さが等しいことに気付くことがこの問題
のポイントです。平行線の性質や三角形の高さ
の定義を正しく理解し、具体的な場面で使える
ことが大切です。底辺と高さが等しいのだから、
2つの三角形の面積は等しくなるという解答に
行き着くこととなります。理由を記述するとき、
必要な事柄を落とさず書くこともあわせて指導し
ていくことが大切です。



③66÷3の筆算の仕方を説明下図を基に、筆算
の十の位に当たる式を選ぶ。 《問題3-(4)》

$$\begin{array}{r}
 66 \div 3 = (60 + 6) \div 3 \\
 = \overset{\text{あ}}{60 \div 3} + \overset{\text{う}}{6 \div 3} \\
 = \overset{\text{い}}{20} + \overset{\text{え}}{2} \\
 = 22
 \end{array}$$

手順2

$$\begin{array}{r}
 2 \\
 3 \overline{)66} \\
 \underline{6} \\
 6 \\
 \underline{6} \\
 0
 \end{array}$$

半数近い児童が正答
「い」を選んでいますが、3割は6÷3「う」を選ん
でいます。

(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基
に各段階の商の意味を考える問題です。

ここでは、「手順の2」でたてた商「2」は、10
の位の商で、66の10の位の「6」を「3」で割っ
たものですので、60÷3の計算をした結果であ
ることに気付かなければなりません。

算数では、割り算の筆算の意味などを、式で
表すという力も求められます。

④割合が30%になるものについて考える。

《問題4-(1)》

- ア) 100人をもとにした0.3人
- イ) 100人をもとにした3人
- ウ) 100人をもとにした30人
- エ) 10人をもとにした3人
- オ) 30人をもとにした1人

百分率で表された割合について理解してい
るかを問う問題です。ウ)という解答は多かった
ですが、エ)は選択しづらかったようです。

百分率を用いた表し方を理解し、割合などを
求めることができることが求められています。

ウ)では「もとにする数」100人を1とみると
30人は0.3になるので30%、エ)でも「もとに
する数」10人を1とみると3人は0.3になるので
30%になります。

「比べられる数」「もとにする数」「割合」等
の関係を正しく理解し、利用できるようにするこ
とが大切です。

実際の問題の一部を紹介します

国立教育政策研究所のHPに全問題、正答例等が掲載されています。よろしければ参照してください。

《国語 問題2-三》

【資料3】 相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることにより、脳が活発に働いたり、**元気に運動**したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなったりいらいらしたりします。







食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主に**エネルギーのもと**になります。

肉や卵などは、主に体をつくるもとになります。**筋肉がついたり**、けがが治りやすくなったりします。

野菜や果物などは、主に体の調子を整えるもとになり、**病気にかかりにくく**なります。

〈栄養素の主な働きと食品の例〉

主にエネルギーのもとになる		 <p>米、パン、バターなど</p>
主に体をつくるもとになる		 <p>肉、卵、牛乳など</p>
主に体の調子を整えるもとになる		 <p>野菜、果物など</p>

三 相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話聞いて、「資料3」に興味をもちました。次は、相田さんが、四角や丸で囲んだり線でつないだりして整理している「資料3」です。相田さんは、何をどのように整理していますか。その説明として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 自分にとって分らない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 2 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 3 自分にとって分らない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 4 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

この問題では、半数の児童が「4」を選択していますが、4割近い児童が「2」を選択しています。

○「4」を選んだ児童は、自分にとって重要なことば、

・「元気に運動」⇒運動

・「エネルギーのもと」「筋肉がついたり」「病気にかかりにくく」⇒栄養素

を整理していることと運動と栄養素の働きを関連付けていることを捉えていると考えられます。

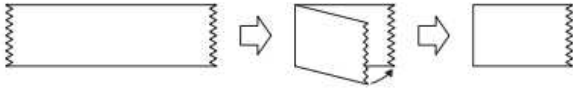
○「2」を選んだ児童は、自分にとって重要なことばを整理していることを捉えてはいるが、運動と栄養素の働きを関連付けて捉えることができていると考えられません。

《算数 問題2-(3)》

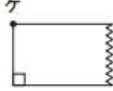
(3) えいたさんたちは、下のようなつくり方で三角形をつくります。

【えいたさんのつくり方】


① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。




② 右の図のように、折り目のはしを点ケとします。



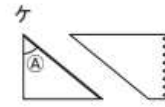
③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。



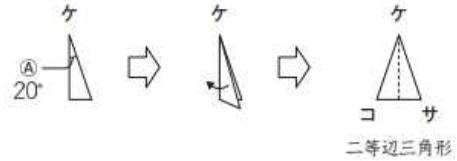
④ 開くと三角形ができました。



ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下のⒶの角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



わたしは、Ⓐの角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、Ⓐの角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、Ⓐの角の大きさを何度にする
ればよいですか。
答えを書きましょう。

この問題では、三角形や四角形などの多角形についての簡単な性質を理解していること（正三角形の1つの角は 60° であること等）が必要となります。また、テープを折ったり、切ったり、開いたりする操作等の平面図形に関わる数学的活動の要素も必要になります。

正三角形の1つの角の大きさが 60° になることは理解できていますが、切って開いたことに着目できていない解答やAの角を「ゆいなさん」の例を見て 20° のまま2倍してしまっている解答もみられました。実際に折り紙など折ってから切ってみれば、ほとんどの児童がAの角は 30° に気付くことでしょう。頭の中でイメージできることも大切ですが、具体物の操作を通して感覚を磨いていくことも大切であるといえます。

状況調査の結果

質問紙調査の結果から見られる本校児童の主な特徴

家庭生活 <p>朝食を毎日しっかり食べ、テレビゲームを長時間しないなど、基本的な生活習慣が身に付いています。また、スマートフォンやパソコン等の使い方についてのルールをよく守っています。なぜルールが必要なのかお子さんと話し合うことが大切です。</p>	学習習慣 <p>家庭学習の時間については、全国とあまり差はありません。読書も全国と同等ですが、読んでいる総時間がやや短いです。休日等の時間を決めて計画的に取り組むとよいです。読解力や表現力をさらに身に付けるためにも、本や新聞を読むことも習慣づけていきたいです。</p>
学校生活 <p>「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに、90%の児童が肯定的に解答をしています。いじめを許さない態度も備わっています。人が困っているときに進んで助けるという課題も今年度は全国を大きく上回っています。今感じているこの気持ちを大切にしていきたいです。</p>	生活意欲 <p>「自分には、よいところがあると思いますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」、「人の役に立つ人間になりたいですか」の問いには、多くの児童が肯定的に答えています。これらのことから、児童の自己肯定感の高さがわかります。自分で決めたことに向かって努力できるようにがんばってほしいです。</p>

課題を改善するために

本年度の調査結果についてポイントを絞ってお知らせしました。結果からは、継続した取り組みが必要なこともわかりました。ご家庭の皆様には引き続き、以下のことについて、ご理解とご協力をお願いします。

① 家庭学習の時間の確保と内容の充実

家庭学習の時間について、小学6年生なら最低70分間、可能ならば90分間は確保したいところです。学校でも学習内容を反復練習するような宿題だけでなく、子どもの主体性を生かした自主学習に取り組めるように指導をしています。また、家庭学習の履歴を残し、振り返りができるようにしています。

② パソコンやテレビゲームから子供を守ること

パソコンやインターネットは、使い方を誤ると大きな問題を起こすことがあります。テレビゲームには、ついやりすぎて依存してしまう危険があります。使う時間や場所などについて親子で話し合い、しっかりルールを決めるとともに、日ごろから使い方について関心を持ち、必要に応じて声をかけるようにしていくことが大切です。学校でも、学習のためにパソコンを使うことが多くなっています。これからもルールを徹底していきます。

③ 世の中で起きていることについて関心を持たせること

新聞を読み、ニュース番組を見ることは、世の中の動きについて知るとともに、自分の考えをもつ絶好の機会となります。自分の考えをもとうとする姿勢は、学習にも話し合い活動にも生かされます。また、自分の将来と主体的に向き合うためにも必要な生きる力となります。様々な場面で子どもに話題を投げかけるとよいです。学校でも、適切な情報を取り上げて、子どもたちに考えさせる場面をつくっていきます。

以上、3点として、本年度も継続して取り組んでいきたいと思っています。学校と家庭と地域がともに同じ方向を向き、里垣小の子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思っています。よろしくをお願いします。